



動物レスキュー通信

2015年9月 第28号 (平成27年9月1日発行)

発行元
一般財団法人 国連世界動物救済支援機構 詩月財団

詩月(しづく) : 詩月財団 理事長
愛玩動物飼養管理士 一級
お問い合わせ : sizuku.foundation@gmail.com

ネ「」の鳴き声 その意味を読み解く



鳴き声をよく聞いてみよう

9月20日から26日までの1週間は動物愛護週間です。これは動物の愛護及び管理に関する法律(いわゆる動物愛護法)に定められていて、その第四条には、ひろく国民の間に命あるものである動物の愛護と適正な飼養についての関心と理解を深めるようにするため、動物愛護週間を設けるようとするため、動物愛護週間を設ける。2、動物愛護週間は、九月二十日から同月二十六日までとする。3、国及び地方公共団体は、動物愛護週間には、その趣旨にふさわしい行事が実施されるように努めなければならない。と書かれています。そのため、この1週間付近には動物に関するイベントがたくさん催されています。犬や猫と共に暮らしている飼い主さんだけではなく、普段は動物と触れ合う機会がありません。これを機会に様々に行われているイベントにぜひ参加し、動物に関する知識を得て下さい。

犬や猫の殺処分を減らすためには、飼い主さんと犬猫が共に幸せに暮らす必要があります。そのためには飼い主さんが犬や猫の気持ちを理解し、上手に付き合う事が大切です。普段から鳴き声やしぐさ、表情や行動などをよく観察していなくてはなりません。そうすることによって犬や猫の変化にもすぐに気付く事が出来るので、病気なども早期発見ができる可能性が広がります。そこで今回は猫の鳴き声について考えてみました。

つんとしていてワールだと思われる猫ですが、飼い主さんと「コミュニケーションを取るために様々なサインを送っています。その中でも鳴き声を聞く事は一番分かりやすいかもしれません。猫の鳴き声は大きく分けて2種類あります。1つは親しい相手に対して呼び掛ける声、もう1つは相手を遠ざけるための威嚇の声です。人間の言葉、ましてや文字で表現すると「ヤオ」や「ミャオン」などの表現しかできませんが、その鳴き方が好意を表しているのか、敵意や恐怖を表しているのかは、猫の声のトーンを聞けば判断できるはずです。しかし人間でもよくしゃべる子、おとなしい子がいるように、猫にもよく鳴く子、おとなしい子がいいて、鳴き方にもそれぞれの個性が表れますので、そこは毎日一緒にいる飼い主さんなら自然と理解できるようになってくはずですよ。

最もよく聞く鳴き声「ヤオ」は何かを要求している時の鳴き声だと言えます。もともと子猫が母猫に何かを訴える時の鳴き方で、例えば「前」の前で「ヤオ」と鳴いて「前」を求めて欲しいと言っています。「敵」の入っている棚やお皿の前で「ヤオ」と鳴いて「敵」を欲していると言っています。短く「ヤッ」と鳴くのは「やあ」と気軽に挨拶している感じです。また、話しかけられた際の返事にも使っているようです。うちの猫たちもよくこの鳴き方をさせて、みんなで窓辺に集まり喉を震わせて

「力カ力カカツ」と言っている事があります。これは外にいる鳥や虫などを「捕まえたいの」に出来ないよ!」と言つ高藤から声が出てしまつたようです。そして私が大好きな「ロロロロ」と喉を鳴らす鳴き方。これはお乳を飲んでる子猫がおっぱいで口がふさがっていても満足したよ」と母猫に伝えられるように、喉の奥で音を鳴らすようになったと言われています。そのため多くの愛猫家は「気持ちいい」「幸せ」と愛猫が感じてくれていると思いい、自身も満足感を得て、幸せに感じる事だと思ひます。しかし「シチュエーション」によっては別の感情の時も「ロロロ」と喉を鳴らす事がある事を覚えておいて下さい。かまつてほしい時、これはかまつてあげれば解決しますが、もう1つは少し注意が必要ですよ。それは病気で調子が悪い時などに鳴らす「ロロロ」です。不安や緊張を和らげるためのもので考えられています。普段よりも音色が低く、弱いつのんの「ロロロ」に気が付いた場合は、猫の体調を手チェックしてあげて下さい。「シャー」「ウー」などと鳴く場合はテリトリーに侵入猫が来た場合などに威嚇するサイン。相手をけん制しながら力量をはかっています。「ナオ」と大きな声で鳴く意味は異性へのアピールの為です。猫は年に数回の発情期がありますが、特に激しいのは1月〜3月で、その頃の発情の声はとて大きなものです。最初にメスがオスを誘うために鳴き、オスがそのメスの声を真似て鳴き、自身の強さをアピールするのです。去勢、不妊手術を施してあげれば、この時期の大きな声に悩まされる事はなくなりますし、オス、メスともに生殖器に関する病気にもかかりにくくなりますし、増えすぎて飼えなくなってしまう。などと言つ事も防げますので、飼い主さんとして新たな命を望まないのであれば、ぜひ去勢 不妊手術をしてあげて下さい。

このように、鳴き声だけでも様々な意味があり、猫の感情を理解してあげられる事は共生する上でとても大切な事なので、普段からよく聞いてあげて下さい。(詩月)